

おこたんぺについて

この文章を書いている私は、おこたんぺの妻、布施紀子です。

私の最愛の夫、布施善之（おこたんぺ）は、2026年6月4日、息を引き取りました。

死因は左肺腺癌多発脳転移です。

8年前、肺に小さい腫瘍が見つかり、ずっと無症状でしたが、脳に転移したことで進行が加速しました。

今年1月から左半身と左目の視界に違和感が出始め、それから日々みるみる症状が悪化し、4月頃から外出も難しくなり、5月頃から起き上がることも難しくなり、あっという間でした。

肺の腫瘍はこの8年間で僅かに広がってはいたものの、殆ど影響は無く、肺がんの症状も一切出ませんでした。脳腫瘍はこの間検査では何も見つからなかったのですが、今年2月には10か所以上見つかり、そこから驚きの速さで進行していきました。

脳から首、腰と転移し、強烈な痛みにも耐えながらも、私や娘に当たることもなく、声を荒げたり物に当たることも一度もなく、穏やかで優しいまま、静かな最期でした。

私と娘は些細なことでも全て、彼の意思を尊重し、彼の選択を最優先に看病に徹しました。

彼は病が蝕んでいく自分の体を俯瞰して観察しているようでした。昨日までできていたことができなくなっていることを、こうなっていくんだ、と言い、もうできないや、と言う毎日。

3月上旬に放射線治療に挑戦しましたが、その影響で彼の長く美しい髪を大量に失いました。鏡の前で髪の毛の抜け落ちた姿を見ながら、どうしよう、剃っちゃおうかな、と毎日呟いていました。結局治療の効果はわからないままです。

お通夜には300人以上の方に参列頂きました。

おこたんぺとは知り合って22年、恋愛が始まって18年、結婚して14年でした。

彼のことが世界で一番好きでした。今も変わらず心から愛しています。

魔法使いみたいだ、と思っていたけど、夫婦になり家族になっても、本当に魔法使いのような人でした。

いつも健康で若々しく、優しくてキラキラしているスーパースターですが、私は彼のダメなところが大好きでした。

彼の死に向き合うことの辛さと、この投稿が及ぼす影響を考えると、慎重にならざるを得ず、この文章を作るのに3か月かかり、お知らせが遅くなってしまいました。

お問合せやご連絡頂いた方には大変申し訳ありませんが、彼のメールなど確認するエネルギーが私にはまだありません。何かあれば私のアドレスにご連絡ください。

最後に、共に生きていることを讃え合って生きていきましょう。

憎しみ、傷つけ合うなんて勿体ない。

日ごと全てが良くなっていると信じて、この命を喜びでいっぱいにしましょう。

それが私の願いです。

皆さんと共に生きていることに心から感謝します。

2026 年 9 月 20 日

布施 紀子

indyowl@gmail.com